

【天皇盃 第31回 全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 沖縄県選手選考基準】

1 《目標》

全国都道府県対抗男子駅伝大会の競技成績の向上を図る。

2 《具体的目標》

全国都道府県対抗男子駅伝大会過去最高順位・最高記録を上回る。

3 《代表選手及び強化選手選考について》

- (1) 各種大会の記録等を参考に、都道府県男子駅伝スタッフが代表選手を選出する。
- (2) 県内中学校、高等学校の情報収集を行う。
- (3) 県内・外大学・実業団の監督と連携し、選手発掘に努める。
- (4) 選手選考を12月に行う。
- (5) 最終の選手選考は理事会で決定する。

4 《代表選手選考基準》

【中学生】

- (1) 11月22日(土)第一次選考会結果から強化選手を選考する。強化選手には12月6日(土)二次選考会を実施し、その内容から全国都道府県男子駅伝大会のレースに対応出来る選手を4名選考する。※一次選考会：県総合運動公園陸上競技場 時間：後日連絡、※二次選考会：場所・時間は後日連絡
- (2) 次年度強化を含めて3000mの走力から2年生の選考もある。

【高校生】

- (1) 今年度5000m公認記録上位者の中から5名程度選考する。その際、セカンドタイム及び高校生区間の適正等も考慮しスタッフ協議の上決定する。
- (2) 次年度強化を含めて5000mの走力から1・2年生の選考もある。

【大学生・一般】

3区(8.5km)、7区(13km)+2名程度を選考する。

- (1) 今年度各競技会及び公認記録会の成績と記録を有する者を選考対象とする。その際セカンド記録及び安定性等も考慮する。
- (2) 正選手、控え選手の区別については、スタッフで協議の上決定する。
- (3) ふるさと選手については、今年度の競技実績を考慮し選考対象とする。

《スタッフ》	監督	高島 友幸	(南城市立船越小学校 校長)
	コーチ	與那嶺 芳和	(沖縄県立那覇西高等学校 教諭)
	コーチ	新里 卓之	(うるま市立石川中学校 教諭)
	支援コーチ	玉城 史仁	(沖縄県立真和志高等学校 教諭)
	支援コーチ	永村 祐	(沖縄国際大学 事務職員)
	支援コーチ	名嘉 琢矢	(国頭村立国頭中学校 教諭)